

ネギ産地における収益性の高い経営体の育成

県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

つくば市のネギ栽培は、昭和50年代から行われ、平成8年にJAつくば市ネギ部会が県青果物銘柄産地に指定されました。平成26年からは生産量拡大や普通作経営体の複合品目としての導入を目的にJAつくば市で「ネギプロジェクト」が始まり、生産から販売までの濃密支援によって、生産者の増加と産地拡大が進んできました。また、ネギを新規に導入し経営の柱とした規模拡大に意欲的な経営体も増えており、収益性の向上のため、技術・経営の両面での支援が求められています。

新規秋冬ネギ栽培者マニュアルの作成

秋冬ネギ栽培は、栽培期間が他の作物と比べて長く、ほ場選びから病害虫防除、土寄せ及び栽培方法等について、わかりやすい資料が必要です。普及センターでは新規栽培者を対象として、基礎的な栽培技術やネギ経営の特徴をまとめたマニュアルを作成しました。マニュアルは、ネギプロジェクト参加者や部会員の若手生産者に配布し、新規秋冬ネギ栽培者の技術習得につながっています。

つくば地域の秋冬ネギ栽培

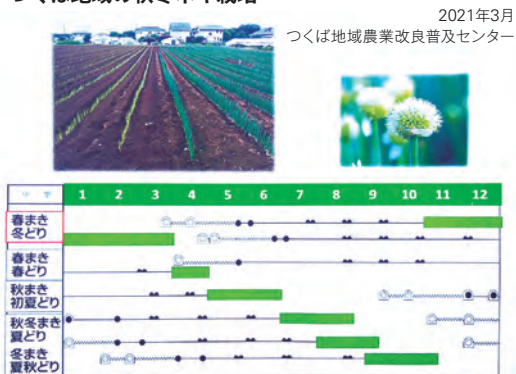


図1 つくば地域秋冬ネギ栽培マニュアル（抜粋）



写真1 ほ場巡回

農協と連携した技術指導体系を確立

「ネギプロジェクト」において、定植前の栽培講習会や定植、土寄せに関する講習会を年4回開催しています。また、参加者には春季と秋季の2回、ほ場巡回を実施し、安定生産を支援しました。この取組を続けてきた結果、年々、生産者と栽培面積が増加し、平成26年度当初は生産者2名、栽培面積0.5haでしたが、令和2年度は生産者41名、17.7haまでに拡大しました。

規模拡大志向経営体への技術・経営指導

普及センターでは、規模拡大志向経営体を対象に旬別の等階級別出荷割合や販売数量をまとめた出荷実績個票を作成しています。前年の作型別出荷量をもとに、適期の病害虫防除や品種選定といった課題を指導することで、次作の品質向上につなげています。こうした指導により、ネギを経営の柱として規模拡大する大規模経営体（2ha以上）は、管内で令和2年度には7経営体から9経営体に増加しました。

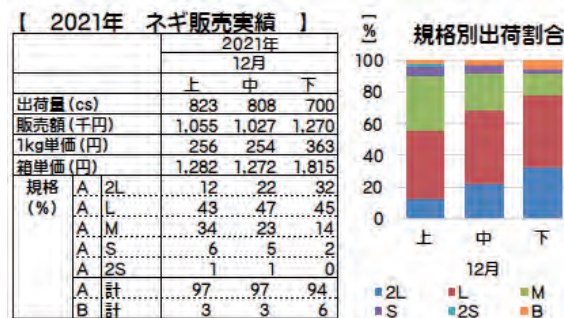


図2 旬別の出荷実績個票（抜粋）